

九州高校ハンド県予選

ハンドボールの第36回琉球新報旗争奪九州高校選抜県予選（主催・県ハンドボール協会、琉球新報社）最終日は22日、ANA ARENA 浦添で決勝を

行った。女子は那覇西が23-17で浦添に勝利し、2年連続12度目の頂点に立った。男子は興南が36-23でコザを破り、3年連続29度目の優勝を果たした。男女上位2チームは県内で開催される第48回九州高校選抜・第43回全国選抜九州地区予選（来年2月7～9日、県立武道館など）への出場権を獲得した。

那覇西、興南

女子

興南

男子



▽決勝	那覇西	23	1310	116	17	浦添
▽決勝	興南	36	1719	1013	23	コザ

兼城、好セーブで流れ呼ぶ

那覇西



那覇西一浦添 前半、好セーブを連続した那覇西のGK兼城桃花＝22日、ANA ARENA浦添（又吉康秀撮影）

ハイライト

女子決勝で那覇西は細かいミスが続いた。比嘉律監督は考えさせられる試合内容だった。（優勝への）プレッシャーを感じていたのかもしれないと語った。1年生主体ながらも県新人で優勝を果たしたが、この日はミスが止まれない」とゴールを死守した。新人大会は「めちゃくちゃ緊張して、全然止められなかった」と出場は前半のわずかな時間のみだった。その後はユースの代表の経験のある比嘉楓（1年）が入り、悔しさを味わった練習では3年生を相手に、本番九州選抜へ向け「相手に流れがつかないよう、守り続けたい」と声を弾ませた。（喜屋武研伍）



女子優勝の那覇西高



女子準優勝の浦添高



男子優勝の興南高



男子準優勝のコザ高

興南一コザ 前半、ディフェンスを突破し、シュートを決める興南の島袋道人



興南、強み生かし快勝

○…興南は前半に苦しみながらも、3-2-1守備、5-1守備を使い分け、強みの堅守速攻で勝利を手繰り寄せた。

一進一退の攻防が続き、前半残り5分で13-13の同点。組織的な守備で高い位置でボールを奪うと、速攻につなげ、左45度の島袋道人や平田理雄が得点を決める。6連続得点でコザを引き離していった。

新人大会で浦添に仕掛けられた7人攻撃への守備が課題だった。堅く守る横一線に変えて対応したが「裏目に出た（黒島宣昭監督）と憤れない守備に連係が乱れ苦戦した。反省を生かし臨んだ今大会。コザに7人攻撃を挑まれたが、守り切ったの快勝。しかし、瑞慶山充貴主将は「練習不足。リズムをつかむまでに時間がかかった。九州では自分たちのベストを出す」とさらなる修正を誓った。